娘の生霊

田中貢太郎

青空文庫

某相場師の娘が、父親にねだって買ってもらった衣服を、知りあいの裁縫師の処へ縫わしにやった。なにしろ相場で巨万の富を積んだ家のことであるから、その衣服も金目のかかったりつぱな物であったろう。またそうした衣服であるから期日も急ぐので、裁縫師は他の仕立物を後廻しにして裁縫にとりかかったが、期日が翌日の朝になっているので、その夜は一時近くまで仕事をして、やっと縫いあげたところで客があった。裁縫師は夜遅くなって何人が来たろうと思って、入口の雨戸をあけると、それは相場師の娘であった。

「おや、まあ、お嬢さん」

娘は光沢のいい顔に微笑を見せた。

「明日の朝までに、どうかと思って、見に来たのよ」

「やっと出来あがったところでござんすの」

「そう」

裁縫師は娘を上へあげて、胡蓙の中に包んであった彼の衣服を執って見せた。すると娘は、

「ちょっと」

と云って、それを着るなり、ずんずんと表の方へ出て往くので、裁縫師は驚いて、

「まあ、お嬢さん」

と云って呼びとめようとした。と、娘の姿がなくなってその衣服ばかりふわふわと崩れるよ

うに下へ落ちた。

裁縫師は不思議でたまらないので、朝になるのを待ちかねて相場師の家へ往って見た。相場師はその前におおがらを啖(くら)って、その夜のうちに夜逃げをしていた。

「それでは」

裁縫師はそこで娘の衣服に対する執着を知った。

青空文庫情報

底本：「伝奇ノ匣6　田中貢太郎日本怪談事典」学研M文庫、学習研究社
　　2003（平成15）年10月22日初版発行
底本の親本：「日本怪談全集」改造社
　　1934（昭和9）年
入力：Hiroshi_O
校正：noriko saito
2010年10月20日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

娘の生霊

田中貢太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/